

岸和田の竹で寒さをふっとばそう！！

たけ ねんりょう じっしょう じっけんちゅう 竹ペレット燃料 実証実験中

愛彩ランド周辺から採れた竹を燃料に利用出来るか、12月19日(木)～27日(金)の間、実験をしています。



木質ペレットとは、間伐材や木ぎれを粉砕し、直径6～8mm×長さ20mm程度の円筒状に固めたもので、石炭、石油などの化石燃料よりも地球に優しい再生可能エネルギーとして注目されています。

竹を燃料利用すると「クリンカ」と呼ばれる燃えカスが出来やすいなどの課題があげられています。今回の実験では、段階的に竹粉の含有量の違うペレットを燃焼させて、クリンカの量、煙の出かたなどのモニタリングを実施します。

たけ ねんりょう じつようか ねう 竹ペレット燃料 実用化の狙い

- 木質バイオマスの利用促進による地球温暖化対策の推進
- 地域資源を活かしたエネルギー関連産業の創出
- 拡大する放置竹林の自然再生と竹資源の有効利用
- 身近な暮らしの中で行う環境学習への寄与



岸和田市では、この他にも岸和田の竹を資源として利活用する様々な取り組みに今後着手していきます。

【具体例】竹の建築資材利用、竹紙、竹プラスチック食器、ボイラー燃料使用(蒸気、温水、温風) 等

お問い合わせ

岸和田市役所
 丘陵地区整備課 (072-423-9658)
 農林水産課 (072-423-9490)
 環境保全課 (072-423-9464)



Kishiwada BambooProject